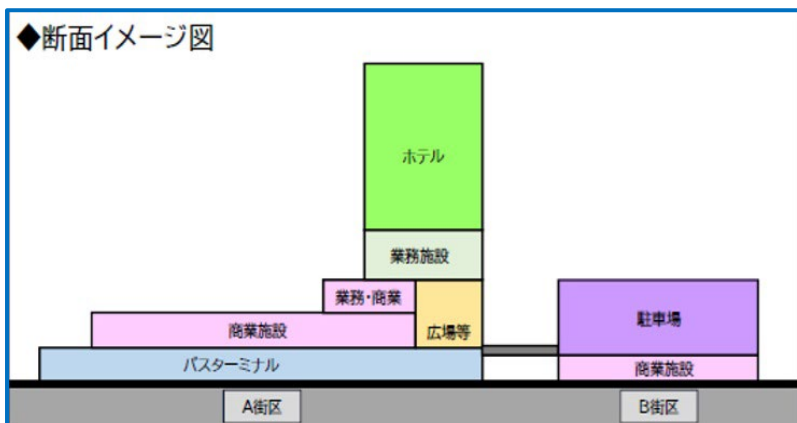


長崎駅前バスターミナルの再整備

タイトルの件は今議会の予算総括質疑にて規模と今後のタイムスケジュール、既存バスターミナルの利便性の向上について質疑しましたが、所管委員会の審査でも説明がなされています。

以下、概要をお知らせします。

- 全体事業 約210億円(国 24 億、県 10 億、地元等 176 億)
- 関係地権者から成る「大黒町地区市街地開発準備組合」を設立
- R7 年度 準備組合により測量や建物調査、基本設計を進めていく予定
- R13 年度 最終的な完成



この計画により駅前地区の以下の現状の課題を解決します。

- 国道利用者の負担軽減
現状のバスターミナル前の国道は「左車線に路線バスが滞留」「国道横断は階段」
- 高速バスターミナルの更新
「老朽化、狭い待合スペース」「バスに挟まれ降車」耐震対策できていない
- 観光資源の顕在化
既存建物がかもめ広場からの「西坂公園二十六聖人像の眺望を遮断」
- 公共交通乗継利便性の向上
駅や出島メッセの最寄りバス停は遠く分かりづらい

質疑では、昨年の質疑で設置すると回答があった「動く歩道」についても未だ場所の確定もできていないことを指摘し、バスターミナルを含め「スピード感を持った取り組み」を求めました。

また建設期間中の仮設ターミナルの場所について、私は工事の時期をずらして同開発区域内に置くと思っていましたが、仮設の場所は駅舎前の広場になるとのこと。

驚くことに、その場所は元々新幹線開通に伴う開発時の当初のバスターミナルの建設予定の場所です。仮設の期間も数年となることを踏まえると「だったら最初からそこに建設すればよかったです。二重投資になっている」と疑問を呈しました。

計画の一貫性の無さ「役所仕事」の最たるものではないかと言わざるを得ません。(もちろん別に大黒町の開発による活性化は必要と考えます) 皆さんどう思われますか？

